

1 題材名

『もっと わたしたちに近かった海』 (3年生 地理的学習)
～調べてみようよ 埋め立てのこと～

2 授業のねらい

- ①千葉市の海がある美浜区・中央区の一部は、昔は海であったことや、埋め立てによって新しく生まれた土地であることを知り、それがどのように変わってきたのかについて調べます。
- ②埋め立てが行われた理由を、埋め立て終了年度と市立学校が急激に開校し増加した年度（昭和48年～50年）と関連させながら、人口の増加の側面を中心に学習を進めます。
- ③埋め立てで新しく生まれた生活、失ってしまった生活を資料からふれるようにします。

3 指導計画上の位置付け

- ◇3年社会科指導計画 4「市の様子と人々のくらしのうつりかわり」と関連した学習です。
- ◇3年副読本 P74・P75「かわってきた千葉市の様子」に対応する1時間の学習です。

4 予想される授業の流れと指導資料

- ①副読本の現在の海浜幕張と50年前の幕張海岸の写真を比べ違いを見つけます。埋め立て地図から、この様に土地の様子が大きく変わったのは埋め立てが行われたのではないかと予想します。
- ②千葉市の立体地図（学校備品）に、砂や土を実際に置いて埋め立ての疑似実験をしながら、なぜこのような埋め立てが行われたのかという疑問を持ちます。
- ③埋め立ての終了年度と市立学校が急激に増加した年度（S48 5校・S49 6校・S50 4校）と埋め立てが行われた年度の年表を比べて、その原因を市の人口の増加の面を中心に話し合います。
- ④埋め立てによって新しく生まれた団地や高層マンション・商業施設・公共施設の増加は、今の私たちの生活にどのような影響を与えているかを話し合っ、自分の意見を発表します。
- ⑤当館5階の「千葉市の海辺」の写真を活用して、埋め立てによって無くなってしまった当時の海水浴や潮干狩りや海苔づくりを紹介します。

<活用する資料>

- ◎3年生副読本 ◎「千葉市の海辺 ～遠浅のうみ 豊かなめぐみ～」(千葉市冊子)
- ◎令和2年度版「教育要覧」より「千葉市教育行政年表」
- ◎「名残り」(千葉市文化振興財団) ◎当館5階写真パネル展「千葉市の海辺」の写真
- ◎「ふるさとの思い出 写真集 明治・大正・昭和 千葉」(国書刊行会)

5 指導上の留意点、その他

- ◇埋め立てと市の人口の増加との関連を、単に数字だけで捉えるのではなく、学校の数が増えて自分たちの生活や地域にどのような影響を与えてきたのかを考えたいと思います。
- ◇当館では5階で「千葉市の海辺」という埋め立て当時の様々な写真を展示しています。また、埋め立て前後の写真も多く所蔵していますので、これを積極的に活用していきたいと思います。